



イレブンエクスード通信 11 月号



経営理念

～一人でも多くの幸せのために～

幸福は自分一人では感じにくいです。また、自分のためだけの幸福は本当の幸福とはいいいにくい。誰かのために仕事をする、誰かのために役に立つこと、誰かのためにやったことで感謝される、周りに感謝をする。それこそが幸福と実感する。充足感を感じることができる。そんな社会を目指してまいります。

私達の目的

仕事を通じて一人でも多くの人々に安全で安心した生活を提供し、
喜びに満ち溢れた幸福な社会を目指してまいります。

ご存じですか？ ～蛍光灯 2027 年問題～



お早めの

LED 化を！



先月号でもお伝えしましたとおり、

2027 年末までに蛍光灯の製造・輸出入が終了します。

各メーカーでは段階的に蛍光灯の受注・生産停止を行っており、
すでに一部の蛍光灯は入手ができなくなっております。

また、生産を継続している蛍光灯も値上げを繰り返しており、価格が急激に
高騰しています。

パナソニック社では 2025 年 9 月末でコンパクト形蛍光ランプの受注を
停止しております。



コンパクト形蛍光ランプ
(FDL、FHT、FPL、FHP タイプ)
主にダウンライトなどで
使用されています。

ご確認ください。



蛍光灯の受注・生産停止

現在、使用されている蛍光灯照明器具に LED ランプが取り付けられるかどうかはその器具の種類によります。



今後はこの「蛍光灯 2027 年問題」により、LED 照明器具の需要がさらに増え、
市場への供給が遅延することが懸念されます。

事業所や店舗で蛍光灯照明器具をお使いの皆様におかれましては、
LED 化を先送りせず、お早めに計画されることをおすすめいたします。
LED 器具の選定や見積依頼など、お気軽に弊社までご相談ください。



11月は児童虐待防止推進月間です

児童虐待に関する相談が増加傾向にあり、毎年11月は「児童虐待防止推進月間」と定め社会的関心を図るために、定められた活動です。

身体的虐待

殴る、蹴る、叩くなどの暴力行為や拘束

性的虐待

性行為を求めたり、性器を触る。性的な写真の被写体にするなど

ネグレクト

病院に連れていけない。食事を与えない。置き去りにするなど

心理的虐待

「生まれてこなければよかった」など言葉の暴力。きょうだい間の差別など



虐待（ぎゃくたい）とは大きく分けてこちらの4種類に分かれています



子どもの権利を守るために ～虐待防止の視点から～

「子どもの権利条約」（1989年 国連採択）は、18歳未満のすべての子どもが人間としての基本的な権利を持つことを国際的に保障する条約です。

この条約には、次の4つの一般原則があります

1. 差別の禁止（第2条）：すべての子どもに平等な権利を保障
2. 子どもの最善の利益（第3条）：子どもに関する判断は最善の利益を最優先
3. 生命・生存・発達の権利（第6条）：命を守り、成長を支える
4. 意見の尊重（第12条）：子どもの意見を聴き、反映する

「虐待」は、これらの権利を否定する行為です。

身体的・心理的な暴力は、子どもの尊厳を深く傷つけ、脳の発達にも悪影響を及ぼすことが明らかになっているそうです。

そして、日本国憲法第13条は「すべての国民は、個人として尊重される」と定め、子どもにも「固有の尊厳」があることを示しています。子どもは、ありのままを受け入れられることで、自己肯定感や他者への信頼感を育んでいけます。

人は、何かを成し遂げたからではなく、「存在そのもの」に価値があります。すべての人が尊重される社会を目指し、子どもを守ることは、私たち一人ひとりの責任だと思われます。

不安なことや悩みがあれば、ひとりで抱え込まず、相談支援事業所イレブンカラースへお気軽にご相談ください。秘密は守られます。一緒に考えていきましょう。



SOS

児童虐待：「189」（いちはやく）児童相談所虐待対応ダイヤル（近くの児童相談所につながります）

匿名可能・通話無料・秘密厳守

高齢者虐待窓口：市町村役所の窓口・地域包括センター

障がい者虐待相談窓口：事業所所在地の市町村または都道府県の障害者虐待対応窓口



イレブン通信
143号

「イレブンエクシード通信」は、弊社とお取引させていただいた方に送付させていただいております。
ご不要の場合は、恐れ入りますが、ご一報ください。

